

トステム株式会社 カーブポートシグマⅢ/レークポートシグマⅢ

取付説明書 - 基本·縦連棟·M合掌·Y合掌 -

- ●このたびは、トステム製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ●施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- ●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



●取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

アポイント

●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

∅ 補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

⚠注意

製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪(新雪)20cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。 排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。





- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。

<基礎工事について>

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって (軟弱な地盤等) 基礎部のコンクリートの量 (体積) を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂 (海砂) および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤 (凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等) は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴 (ϕ 6) をあけてください。 柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原 因になります。

注意

<施工の際に>

- ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ・「使用上の注意」 ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱 アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

<施工の後に>

- □ボルト、ネジを増し締めしてください。
- □取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1	梱包明細表:	4
2	基本寸法と各部名称:	8
	1. 各部名称······	8
	2. 基本寸法	. 9
3	<u>基本の施工方法·</u> ·····	14
	1. 基礎の施工	14
	2. 柱と梁の取付け	15
	3. 前枠・母屋・後枠の取付け	16
	4. 側枠・アーチの取付け	18
	5. 屋根パネルの取付け	19
	6. 竪樋の取付け	21
<u>4</u>	M合掌の施工方法····································	22
	1. 基礎の施工	22
	2. 本体の組立て	23
<u>5</u>	Y合掌の施工方法····································	24
	1. 基礎の施工	24
	2. 本体の組立て	25
6	<u>縦連棟の施工方法··</u> ······	26
	1. 基礎の施工	26
	2. 本体の連結	28
	3. M合掌・Y合掌の縦連棟····································	30

■ 1 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】部品セット

		員数							
名 称	略図		1 1			レギュラー			
		29/50型	57型	14型	50型	57型	14型		
前枠コーナーキャップR		1	1	_	1	1	_		
前枠コーナーキャップL		1	1	_	1	1	_		
後枠コーナーキャップR		1	1	_	1	1	_		
後枠コーナーキャップL		1	1	_	1	1	_		
梁キャップ		2	2	1	2	2	1		
梁用止水パッキン ※	\Diamond	_	_	_	3	3	_		
ブラケットカバーR		2	2	1	2	2	1		
ブラケットカバーL		2	2	1	2	2	1		
アンカー棒		2	2	1	2	2	1		
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1		
穴隠しシール		20	20	10	20(24)	20(24)	10(12)		
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1		
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1		
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2		
ドレンエルボ φ40用		1	1	1	1	1	1		

【1】部品セット(つづき)

		員数							
名 称	略図		=======================================		レギュラー				
		29/50型	Name	14型					
92° エルボ φ40用		2	2	2	2	2	2		
でんでん		3	3	3	3	3	3		
接着剤		1	1	1	1	1	1		
パネル緩衝材		16	16	8	24 (32)	24 (32)	8		
【1-1】M8×25六角ボルト(SW+PW)		14	14	7	14	14	7		
【1-2】φ5×55サラタッピンネジ	(X))))))	2	2	1	2	2	1		
【1-3】φ5×14トラスネジ		4	4	2	4	4	2		
【1-4】 <i>φ</i> 4×10ワッシャーヘッドネジ		105	116	33	126 (170)	138 (187)	39 (52)		
【1-5】 φ4×13ナベドリルネジ	(t))))))>	38	42	12	47 (56)	52 (62)	14 (16)		
取付説明書	<u> </u>	1	1	_	1	1	_		

※()内は間口30型です。【2】主柱セット

[2] 王柱セット							
		員 数					
名 称	略図	2本入	1本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28 1本入	
標準柱 H18		2	1	_	_	_	
ロング柱 H23		_	_	2	1	_	
ロング柱 H28		_	_	_	_	1	
取扱説明書	_	1	_	1	_	1	

【3】竪桶セット

A th	m4 m	員 数			
名 称 略 図		L3100	L1000		
竪樋 L=3100 <i>φ</i> 40		1	_		
竪樋 L=1000 <i>φ</i> 40		_	1		

【4】ブラケットセット

			員	数			
名 称	略図	3 =		略 図 ミニ レギュラ			ュラー
		2本入	1本入	2本入	1本入		
ブラケット		2	1	2	1		

■梱包明細表(つづき)

【5】幅セット

A 1hr	m4 m3	員 数				
名 称	称 略 図		57型	29型		
側枠R		1	1	1		
側枠L		1	1	1		
側枠カバー		2	2	2		

【5】幅セット(つづき)

夕 折	□ 4 [□7]	員 数				
名称	称 略 図		57型	29型		
アーチ		6	7	3		
アーチカバー		6	7	3		

【6】屋根材セット

名 称	m4z 1571	員 数			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	略図	3枚入	4枚入		
屋根パネル		3	4		

【7】梁セット

A 1hr	m4 177	員	数
名 称	略図	2本入	1本入
梁		2	1

【8】長さセット

10, 200 001						員	数				
名 称	略図		50型			57型			14型		29型
		2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4	2
竪樋 φ40		1	1	1	1	1	1	_	_	_	_

【9】M合掌部品セット

名 称	略図	員 数			
		50型	57型	14型	
M合掌力バー材 (下)		4	5	_	
M合掌キャップ		2	Ŋ	_	
梁連結材		4	4	2	

【9】M合掌部品セット(つづき)

	名 称	略図	員 数				
	1		50型	57型	14型		
[9-1]	M8×75		4	4	م		
	六角ボルト		4	4	_		
[9-2]	M8平座金	9	8	8	4		
[9-3]	M8バネ座金	P	4	4	2		
[9-4]	M8袋ナット		4	4	2		
[9-5]	φ4×13	Ome	8	9			
	ナベドリルネジ	\(\mathbb{E}\)	0	9			

【10】Y合掌部品セット

名 称	略図		員 数		
		50型	57型	14型	
Y合掌カバー材(下)		4	5	_	
Y合掌キャップ		2	2	_	
Y合掌用柱連結金具		2	2	1	
【10-1】 φ4×13 ナベドリルネジ	(+)))))>>	8	9	_	

【II】M合掌連棟部品セット

名 称	略図	員 数
M・Y合掌縦連棟カバー材(上)		1
M合掌縦連棟カバー材(下)		1
【II-1】 φ4×13ナベドリルネジ	(†)))))>>	4
F1.67		

【12】Y合掌連棟部品セット

名 称	略図	員 数
M・Y合掌縦連棟カバー材(上)		1
Y合掌縦連棟カバー材(下)		1
【12-1】 φ4×13ナベドリルネジ	(†)))))>	4

【13】M・Y合掌棟木セット

名 称	略図	員 数
M·Y合掌棟木		1

【14】連棟用幅セット

A Ir	m o no	員数			
名 称	略図	50型	14型		
アーチ		7	8	Ŋ	
アーチカバー		7	8	2	

【15】連棟部材ヤット

【13】 建株部州 セット					
d th	四女 5岁	177	員 数		
名 称	略	図	18~27用	30用	
前枠スリーブ			1	1	
後枠スリーブ			1	1	
母屋スリーブ			3	4	
【15-1】 φ4×13 ナベドリルネジ	(1)2		46	54	
【17】母屋補強材セット※ オプション					

【16】屋根材ホルダーセット ※

【10】	**		(1) / -	/ = /
		員 数		
名 称	略図	7本入 (50型)	8本入 (57型)	2本入 (14型)
屋根材ホルダー		7	8	2
屋根材ホルダースペーサー	©	18	18	6
【16-1】 φ5×13ナベドリルネジ	(+)))))>>	19	19	6
取付説明書	_	1	1	_

[※]Fタイプの間口21~30型は標準設定です。

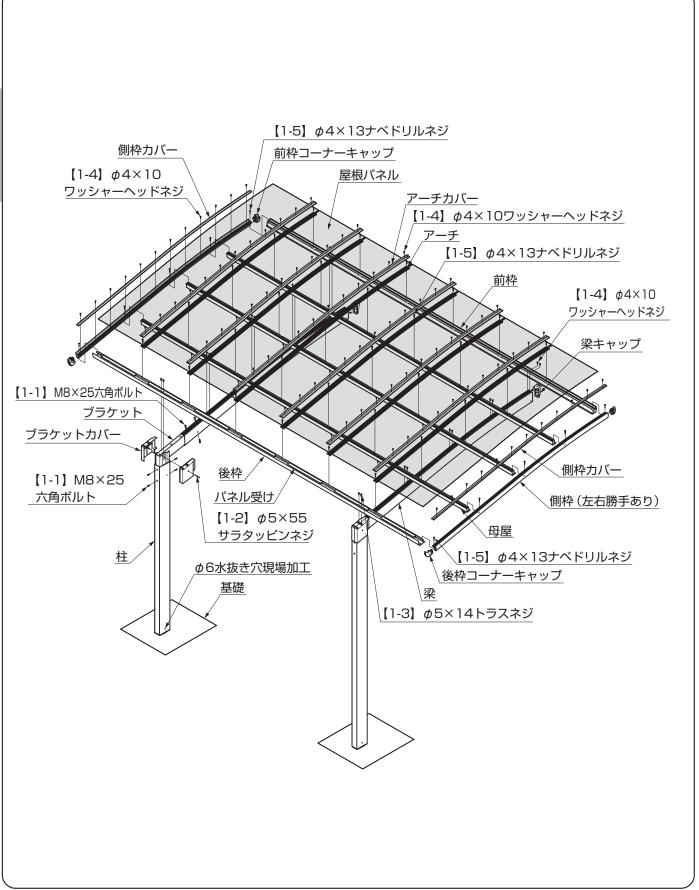
オプション 【17】母屋補強材セット※

名 称	略図	員 数
母屋補強材 (L=1500)		2
【17-1】 φ4×13ナベドリルネジ	(+)))))>>	9
【17-2】 φ5×13ナベドリルネジ	(+)))))>>	5
取付説明書(MAL-442A/D428)	_	1

※耐積雪・耐風圧仕様の場合

■ 2 基本寸法と各部名称

1. 各部名称



2. 基本寸法 ※図は標準柱仕様を示します。()はロング柱仕様、[]はH28柱仕様を示します。

2-1 間口Rタイプ

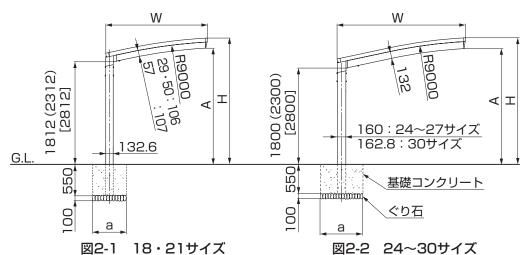


表2-1

間口	W	А	Н	а
18	1801	2057 (2557) [3057]	2235 (2735) [3235]	600
21	2101	2121 (2621) [3121]	2298 (2798) [3298]	600
24	2401	2166 (2666) [3166]	2370 (2870) [3370]	700
25.5	2551	2198 (2698) [3198]	2402 (2902) [3402]	700
27	2701	2230 (2730) [3230]	2434 (2934) [3434]	700
30	3000	2376 (2876) [3376]	2580 (3080) [3580]	800

2-2 間口Fタイプ

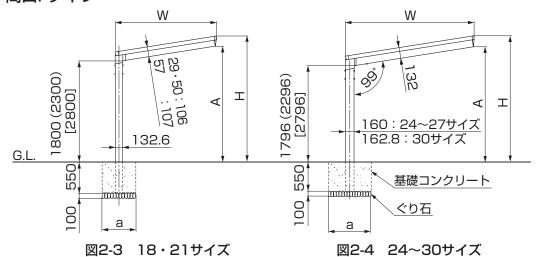


表2-2

2/				
間口	W	A	Н	а
18	1800	2064 (2564) [3064]	2244 (2744) [3244]	600
21	2103	2112 (2612) [3112]	2291 (2791) [3291]	600
24	2406	2152 (2652) [3152]	2357 (2857) [3357]	700
27	2709	2200 (2700) [3200]	2405 (2905) [3405]	700
30	3029	2251 (2751) [3251]	2456 (2956) [3456]	800

2. (つづき)

2-3 奥行き50タイプ ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

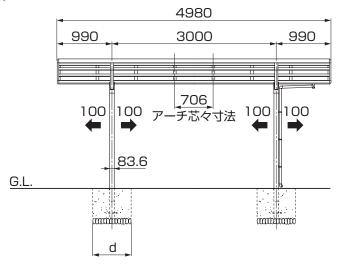


表2-3

サイズ	d
18 • 21	400
24~27	600
30	700

2-4 奥行き57タイプ ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

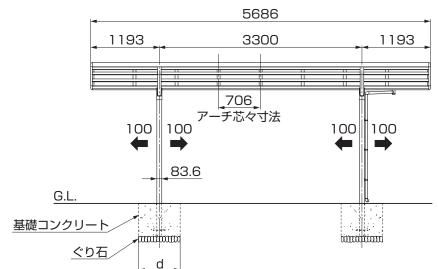
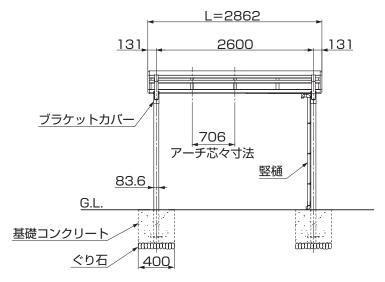


表2-4

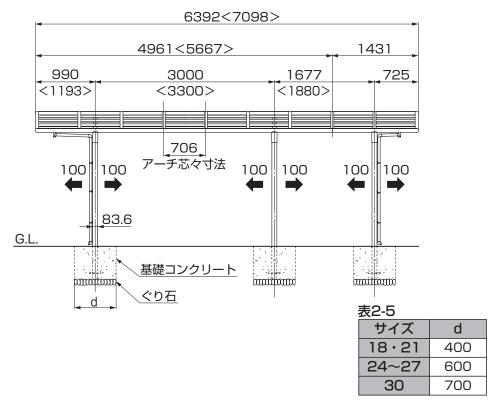
20-	
サイズ	d
18 · 21	400
24~27	600
30	700

2-5 奥行き29タイプ ※柱芯々寸法は変更できません。(雨樋アタッチメントに干渉します。)



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

2-6 奥行き14延長タイプ ※〈 〉は57型を示します。



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

2-7 奥行き縦連棟タイプ ※〈 〉は57型を示します。

9922 (11334) 990 3000 1942 3000 990 <1193> <1193> <3300> <2348> <3300> 706 アーチ芯々寸法 100 100 100 100 100 100 100 100 83.6 G.L. 基礎コンクリート bancontiana umanimum ぐり石 表2-6 d サイズ d 18.21 400 24~27 600 700 30

2. (つづき)

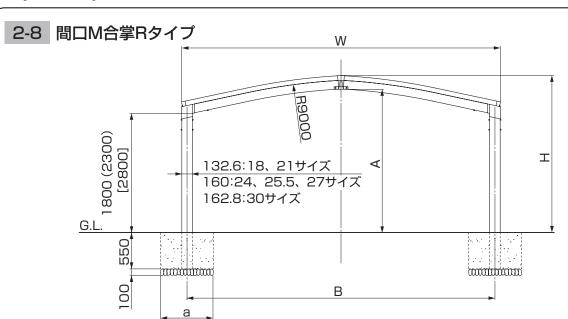


表2-7

XL /					
間口	W	А	Н	а	В
18-18	3616	2054 (2554) [3054]	2239 (2739) [3239]	600	3480
21-21	4216	2118 (2618) [3118]	2302 (2802) [3302]	600	4080
24-24	4816	2164 (2664) [3164]	2374 (2874) [3374]	700	4653
25.5-25.5	5116	2195 (2695) [3195]	2406 (2906) [3406]	700	4953
27-27	5416	2227 (2727) [3227]	2437 (2937) [3437]	700	5253
30-30	6014	2373 (2873) [3373]	2584 (3084) [3584]	800	5848



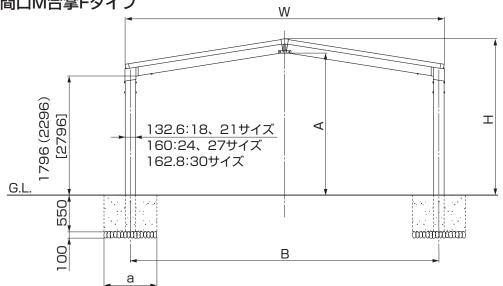


表2-8

20					
間口	W	Α	Н	а	В
18-18	3620	2057 (2557) [3057]	2247 (2747) [3247]	600	3487
21-21	4226	2105 (2605) [3105]	2295 (2795) [3295]	600	4093
24-24	4832	2145 (2645) [3145]	2361 (2861) [3361]	700	4673
27-27	5437	2193 (2693) [3193]	2409 (2909) [3409]	700	5279
30-30	6078	2244 (2744) [3244]	2460 (2960) [3460]	800	5916

2-10 間口Y合掌Rタイプ

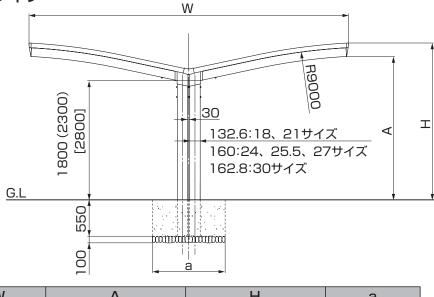


表2-9

間口	W	А	Н	а
18-18	3630	2057 (2557) [3057]	2235 (2735) [3235]	700
21-21	4230	2121 (2621) [3121]	2298 (2798) [3298]	700
24-24	4830	2166 (2666) [3166]	2370 (2870) [3370]	800
25.5-25.5	5130	2198 (2698) [3198]	2402 (2902) [3402]	800
27-27	5430	2230 (2730) [3230]	2434 (2934) [3434]	800
30-30	6028	2376 (2876) [3376]	2580 (3080) [3580]	900

2-11 間口Y合掌Fタイプ

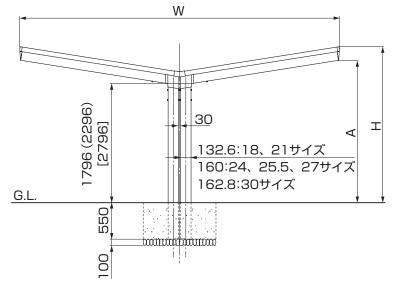


表2-10

サイズ	W	Α	Н	а
18-18	3628	2064 (2564) [3064]	2244 (2744) [3244]	700
21-21	4234	2112 (2612) [3112]	2291 (2791) [3291]	700
24-24	4844	2152 (2652) [3152]	2357 (2857) [3357]	800
27-27	5450	2200 (2700) [3200]	2405 (2905) [3405]	800
30-30	6094	2251 (2751) [3251]	2456 (2956) [3456]	900

基本の施工方法 **■**3

1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し

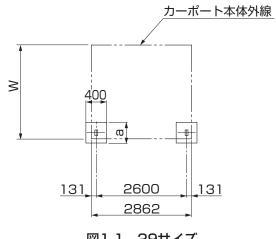


図1-1 29サイズ

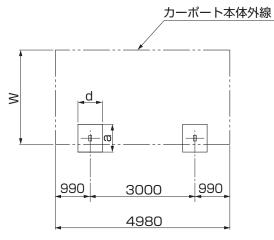


図1-2 50サイズ

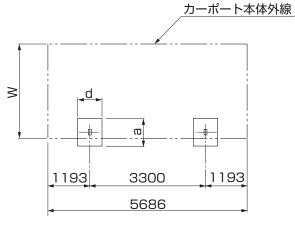


図1-3 57サイズ

表1-1

11 / - "	W		â	а	d		
サイズ 呼称	R	F	土間なし	土間 コンクリート	土間なし	土間 コンクリート	
18	1801	1800	600	400	400	300	
21	2101	2103	600	400	400	300	
24	2401	2406	700	400	600	300	
25.5	2551	_	700	400	600	300	
27	2701	2709	700	400	600	300	
30	3000	3029	800	500	700	300	

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●29サイズは柱移動ができません。(雨樋アタッチメントに干渉します。)
- ●29サイズはW18,21のみです。

1-2 基礎寸法 ※土間コンクリート仕様、Y合掌納まり仕様の場合

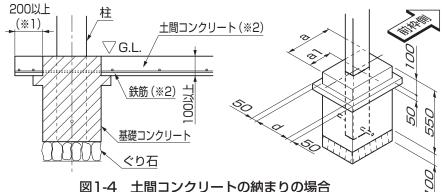




図1-4 土間コンクリートの納まりの場合

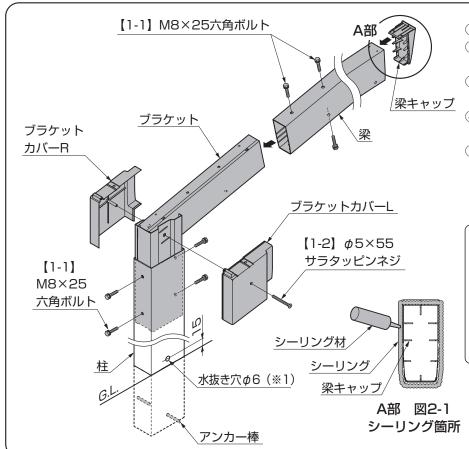
表1-2

サイズ	基	基本·M合享	掌	Y合掌		
917	а	al	d	а	al	d
18,21	400	200	300	500	_	300
24~27	400	200	300	600	_	300
30	500	250	300	600	_	300

♬ポイント

- ●基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- ●土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)

2. 柱と梁の取付け

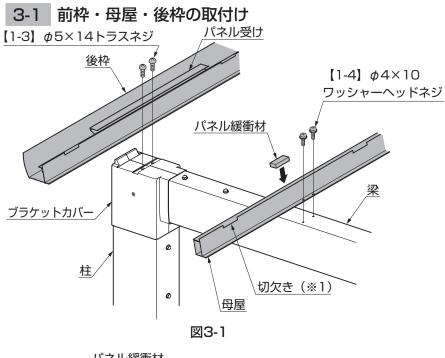


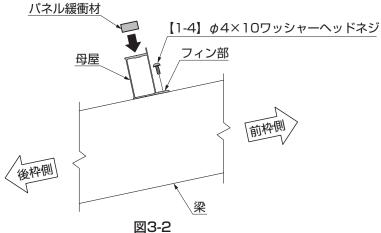
- ①柱にアンカー棒を差込んでください。
- ②柱にブラケットを【1-1】で取付けて ください。
- ③梁をブラケットに【1-1】で取付けて ください。
- ④ブラケットカバーR、ブラケットカバ -Lを【1-2】で取付けてください。
- ⑤梁キャップにシーリング材を充てんし て、梁に取付けてください。 (図2-1参照)

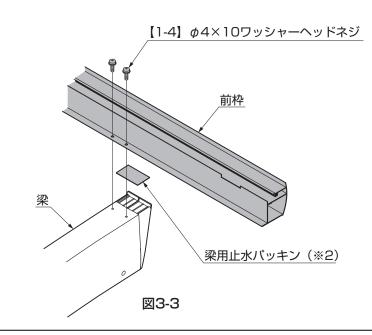
1 注意

- ●「使用上の注意」ラベルを貼って いる柱に竪樋を取付けると、表示 が見えなくなります。竪樋を取付 けない側に表示ラベルを向けてく ださい。
- ●柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜 き穴をあけてください。(※1)

3. 前枠・母屋・後枠の取付け







①後枠をブラケットカバーに【1-3】で 取付けてください。(図3-1参照)

ポイント

- ●パネル受けを後枠の切欠きと切欠き の間に均等になるように移動させて ください。
- ②パネル緩衝材を母屋の切欠きと切欠き (※1)の間に貼付けてください。
- ③前枠側にフィン部を向けて、母屋を梁に【1-4】で取付けてください。 (図3-2参照)

ポイント

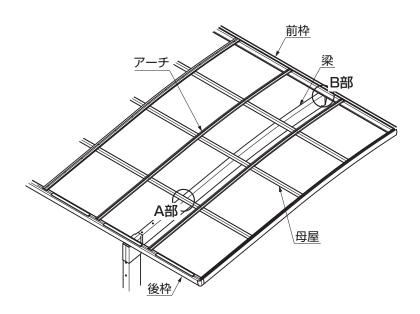
- ●耐風圧仕様の場合は梁と母屋の交差 する場所に【17-2】を1つ追加して ください。
- ●詳細は「3-2 耐風圧オプションの 取付け オプション 」を参照してく ださい。
- ●母屋補強材の取付手順は、『母屋補強材セット』同梱の「MAL-442A/D428 取付説明書」を参照してください。

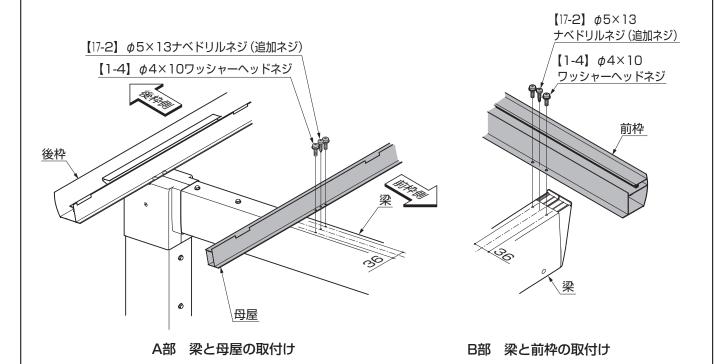
④前枠を梁に【1-4】で取付けてください。(図3-3参照)

♬ポイント

- ●柱を移動した場合は、前枠・後枠・ 母屋を梁に合わせて後枠は ϕ 5.5、 前枠・母屋は ϕ 4.5の穴加工を行なってください。
- ●既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。
- ●化粧カラーの場合は、梁用止水パッキン(※2)を貼付けてから前枠を 梁に取付けてください。
- ●耐風圧仕様の場合は梁と前枠の交差 する場所に【17-2】を1つ追加して ください。
- ●詳細は「3-2 耐風圧オプションの 取付け オプション 」を参照してく ださい。

3-2 耐風圧オプションの取付け オプション



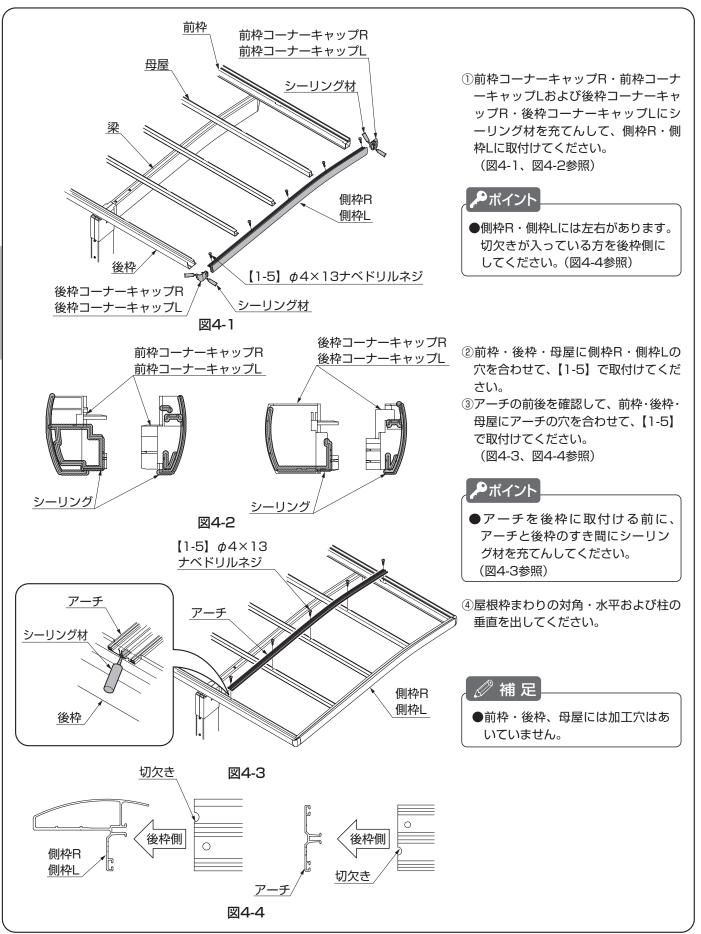


①母屋、前枠と梁を固定している【1-4】の中間に母屋補強材セット同梱の【17-2】を取付けてください。 (A・B部参照)

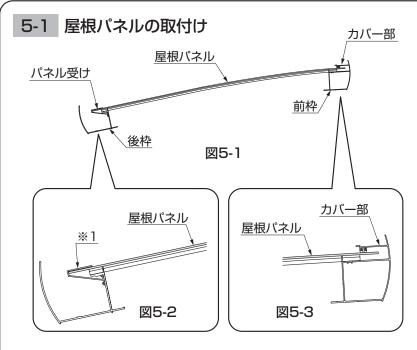
ポイント

●間口24・30型の耐風圧仕様の場合、柱側母屋と梁にφ4.5の下穴をあけてから【17-2】を追加でネジ止めしてください。

4. 側枠・アーチの取付け



5. 屋根パネルの取付け

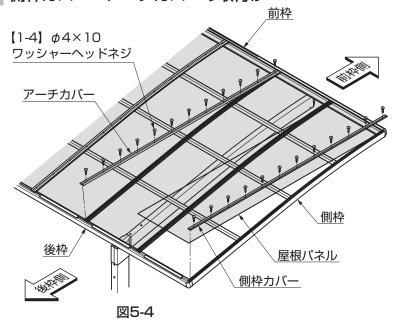


①屋根パネルを前枠のカバー部に差込み、 パネル受けに差込んでください。

₽ポイント

- ●屋根パネルは後枠側に突き当ててください。(※1)
- ●アーチ部ののみ込み寸法は、左右均 等にしてください。
- ●屋根パネルは必ず裏表を確認し、保 護シートをはがしてから取付けてく ださい。

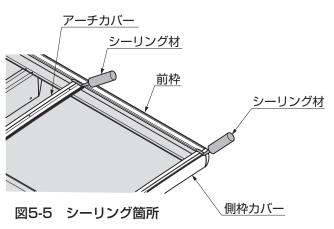
5-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け



①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てて、前枠側からアーチに【1-4】で取付けてください。(図5-4参照)

ルポイント

●アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。



②前枠とアーチカバーの間と前枠と側枠 カバーの間にシーリング材を充てんし てください。(図5-5参照)

5-3 屋根材ホルダーの取付け オプション ※レークポートシグマⅢ (Fタイプ) は標準設定です。(間口18型を除く) 前枠 アーチカバー 側枠 側枠カバー [16-1] $\phi 5 \times 13$ ナベドリルネジ 【16-1】 φ5×13ナベドリルネジ 屋根材ホルダー 屋根材ホルダースペーサー 図5-6 屋根材ホルダー [16-1] ϕ 5×13 ナベドリルネジ 屋根材ホルダー 側枠カバー 屋根パネル 屋根材ホルダースペーサー 側枠 図5-7 A部詳細図 図5-9 屋根材ホルダー 側 屋根材ホルダー 切欠き 裏 屋根材ホルダースペーサー 中間は片側貼付け 図5-8 屋根材ホルダー断面図 図5-10

カーブポートシグマIII(Rタイプ)の場合

①屋根材ホルダーを後枠側から数えて1本目の母屋の真上の位置に【16-1】で取付けてください。(図5-6参照)

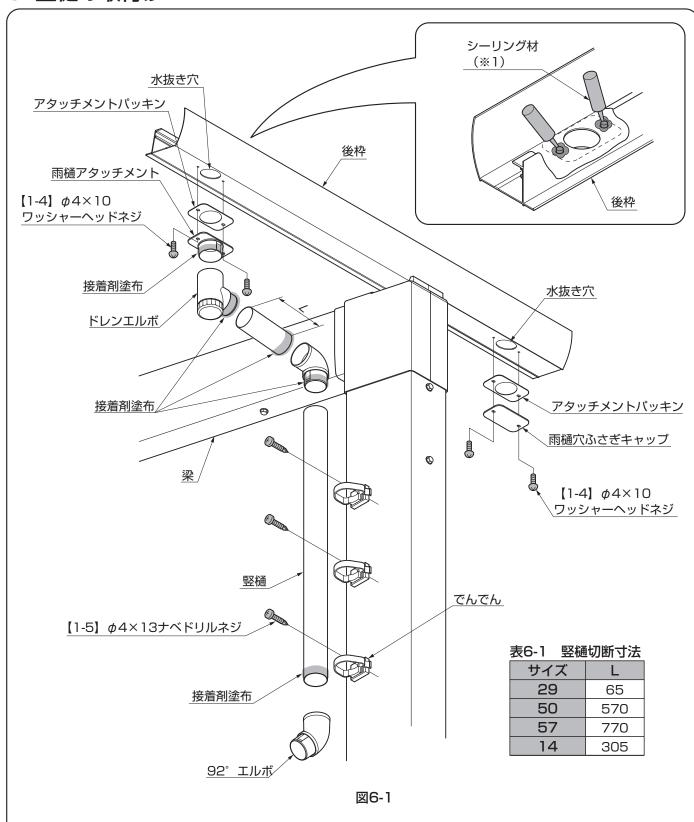
レークポートシグマⅢ (Fタイプ) の場合

- ①屋根材ホルダーを後枠側から数えて2本目の母屋の真上の位置に【16-1】で取付けてください。(図5-6参照)
- ②母屋2列分取付ける場合は、後枠から数えて1本目と2本目の母屋の真上の位置に取付けてください。

ポイント

- ●側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図5-9参照)
- ●2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図5-10参照)
- ●取付け前に屋根材ホルダー下面に屋根材ホルダースペーサーを貼付けてください。 (端部:図5-7、中間:図5-8参照)

6. 竪樋の取付け



- ①竪樋を切断してください。(表6-1参照)
- ②後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、竪樋、92°エルボ、でんでんを接着剤と【1-4】、【1-5】で取付けてください。
- ③もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【1-4】で取付けてください。
- ④ネジ部にシーリングを充てんしてください。(※1)

4 M合掌の施工方法

1. 基礎の施工

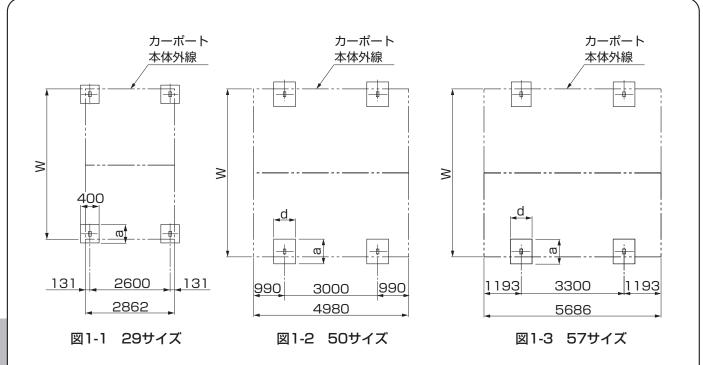


表1-1

11	W		â	а	d		
サイズ呼称	R	F	土間なし	土間 コンクリート	土間なし	土間 コンクリート	
18-18	3616	3620	600	400	400	300	
21-21	4216	4226	600	400	400	300	
24-24	4816	4832	700	400	600	300	
25.5-25.5	5116	_	700	400	600	300	
27-27	5416	5437	700	400	600	300	
30-30	6014	6078	800	500	700	300	

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

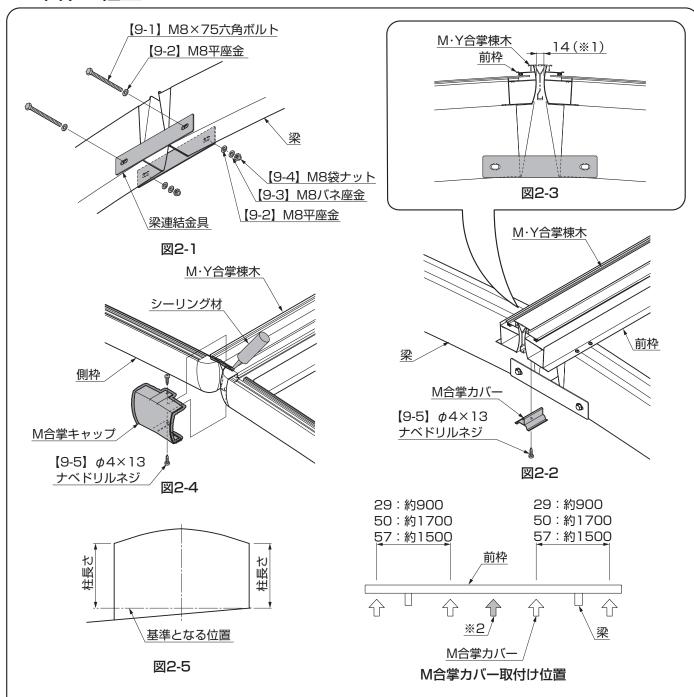
② 補足

- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●29サイズは柱移動ができません。(雨樋アタッチメントに干渉します。)
- ●29サイズはW18,21のみです。

┍╸ポイント

●間口、奥行サイズにより基礎穴の大きさが変わります。

2. 本体の組立て



- ①柱、梁を組立てて建て込み、梁のプッシュボタンを外した後、梁と梁を梁連結金具で接続してください。(図2-1参照)
- ②M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せてM合掌カバーで固定してください。(図2-2参照)
- ③M合掌キャップおよびM・Y合掌棟木にシーリング材を充てんし、M合掌キャップを【9-5】で取付けてください。 (図2-4参照)

アポイント

●柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-5参照)

/ 補足

- ●M合掌部以外の取付けは、「_■3 基本の施工方法」を参照してください。
- ●前枠と前枠間隔は14mmであることを確認してください。(※1)
- ●奥行き57型は、M合掌カバーを奥行き中心にも取付けてください。(※2)

■ 5 Y合掌の施工方法

1. 基礎の施工

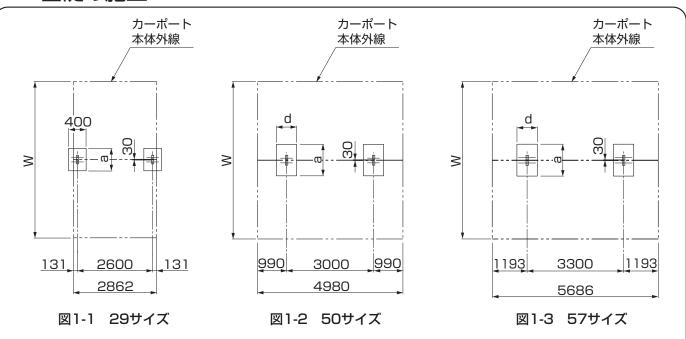


表1-1

TT /"	V	V	á	a	d			
サイズ	0		1 884-1	土間	_L_88+c1	土間		
呼称	R	F	土間なし	コンクリート	土間なし	コンクリート		
18-18	3630	3628	700	500	400	300		
21-21	4230	4234	700	500	400	300		
24-24	4830	4844	800	600	600	300		
25.5-25.5	5130	_	800	600	600	300		
27-27	5430	5450	800	600	600	300		
30-30	6028	6094	900	600	700	300		

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

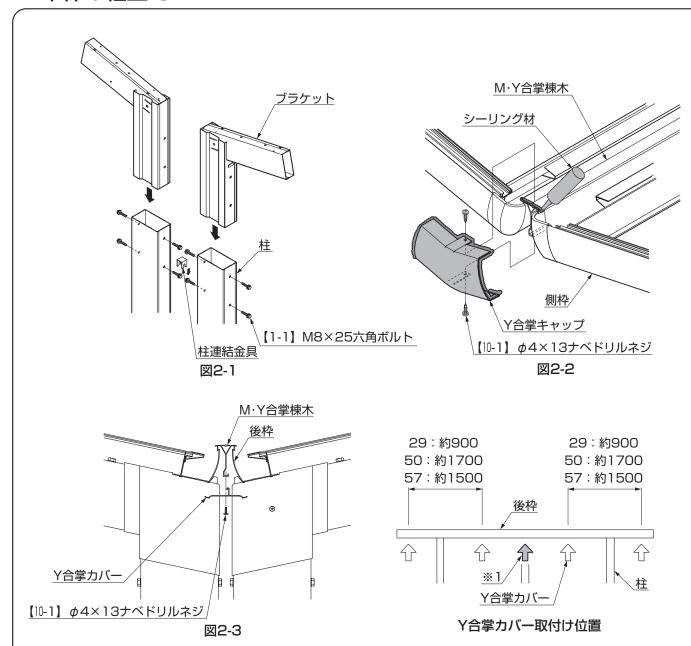
② 補足

- ●アンカー棒は必ず柱に取付けて施工してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●29サイズは柱移動ができません。(雨樋アタッチメントに干渉します。)
- ●29サイズはW18、21のみです。

♪ポイント

●間口、奥行サイズにより基礎穴の大きさが変わります。

2. 本体の組立て



- ①柱にブラケットを差込み、柱前面のみに固定してください。
- ②合掌面側の【1-1】を軽く締め、すき間に柱連結金具を差込んで固定してください。(図2-1参照)

₽ポイント

- ●柱と柱のすき間は30mmです。
- ●柱の上面は同一高さにしてください。
- ●柱連結金具は、下側の【1-1】に止めてください。
- ③M合掌棟木・Y合掌棟木を後枠の間に乗せて、Y合掌カバーで固定してください。(図2-3参照)
- ④Y合掌キャップおよびM・Y合掌棟木にシーリング材を充てんし、Y合掌キャップを【10-1】で取付けてください。 (図2-2参照)

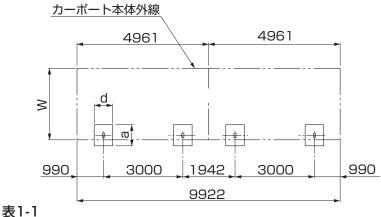
② 補足

- ●Y合掌部以外の取付けは、「■3 基本の施工方法」を参照してください。
- ●奥行き57型は、Y合掌カバーを奥行き中心にも取付けてください。(※1)

縦連棟の施工方法 **6**

1. 基礎の施工

1-1 奥行き50サイズ+50サイズ



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘 ってください。

補足

- ●基礎構造については「∎2 基本寸法 と各部名称 2.基本寸法」を参照 してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが 柱芯々寸法が±100mm以内にな るようにしてください。

TT 7-"	W		a	3	d			
サイズ			_L88+c1	土間	_L88+c1	土間		
呼称	R	F	土間なし	コンクリート	土間なし	コンクリート		
18	1801	1800	600	400	400	300		
21	2101	2103	600	400	400	300		
24	2401	2406	700	400	600	300		
25.5	2551	_	700	400	600	300		
27	2701	2709	700	400	600	300		
30	3000	3029	800	500	700	300		

1-2 奥行き57サイズ+57サイズ

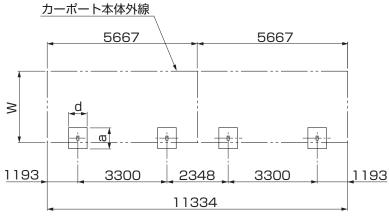


表1-2

11 / - ''	W		á	3	d	
サイズ 呼称	R	F	土間なし	土間 コンクリート	土間なし	土間 コンクリート
18	1801	1800	600	400	400	300
21	2101	2103	600	400	400	300
24	2401	2406	700	400	600	300
25.5	2551	-	700	400	600	300
27	2701	2709	700	400	600	300
30	3000	3029	800	500	700	300

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘 ってください。

補足

- ●基礎構造については「 2 基本寸法 と各部名称 2.基本寸法」を参照 してください。
- ●柱の移動は±100mm以内ですが 柱芯々寸法が±100mm以内にな るようにしてください。

1-3 奥行き50サイズ+14サイズ

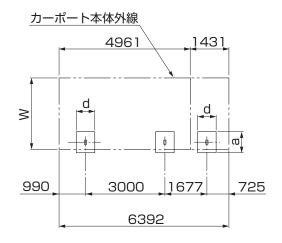


表1-3

我1-0						
サイズ 呼称	W		а		d	
	R	F	土間なし	土間	_L88+e1	土間
				コンクリート	土間なし	コンクリート
18	1801	1800	600	400	400	300
21	2101	2103	600	400	400	300
24	2401	2406	700	400	600	300
25.5	2551	_	700	400	600	300
27	2701	2709	700	400	600	300
30	3000	3029	800	500	700	300

1-4 奥行き57サイズ+14サイズ

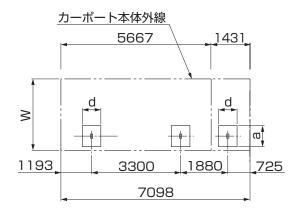


表1-4

サイズ 呼称	W		а		d	
	В	F	⊥ 88+c1	土間	⊥ 88+c1	土間
小子子小	R	Г	土間なし	コンクリート	土間なし	コンクリート
18	1801	1800	600	400	400	300
21	2101	2103	600	400	400	300
24	2401	2406	700	400	600	300
25.5	2551	_	700	400	600	300
27	2701	2709	700	400	600	300
30	3000	3029	800	500	700	300

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

② 補足

- ●基礎構造については「₂2基本寸法 <u>と各部名称</u> 2.基本寸法」を参照 してください。
- ◆柱の移動は±100mm以内ですが 柱芯々寸法が±100mm以内にな るようにしてください。

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

∅ 補足

- ●基礎構造については「_■2 基本寸法 <u>と各部名称</u> 2.基本寸法」を参照 してください。
- ◆柱の移動は±100mm以内ですが 柱芯々寸法が±100mm以内にな るようにしてください。

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工 ※()寸法は、化粧カラー用の場合です。

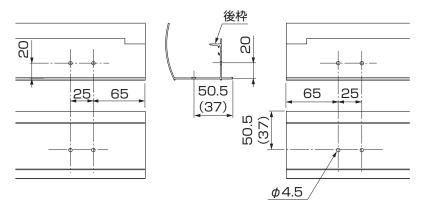


図2-1 後枠の加工

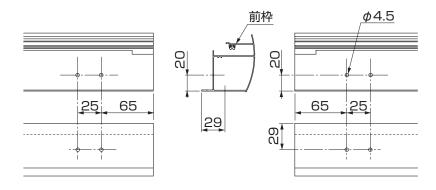


図2-2 前枠の加工

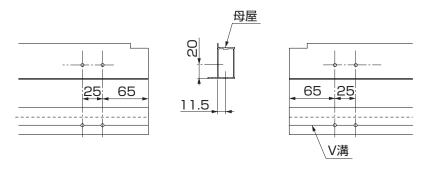


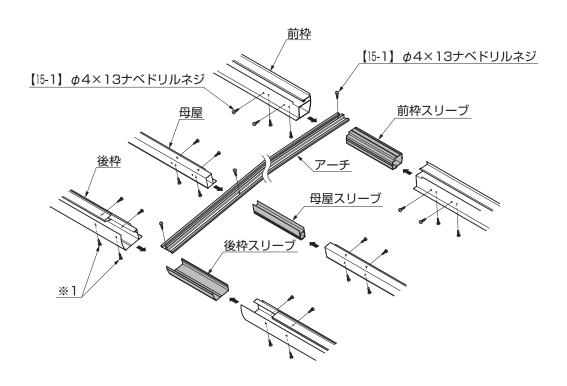
図2-3 母屋の加工

①後枠・前枠・母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

アポイント

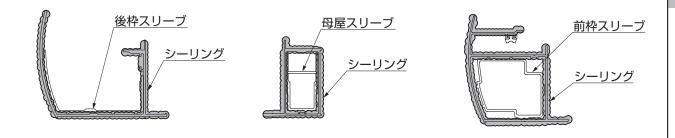
●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

2-2 連棟部の連結



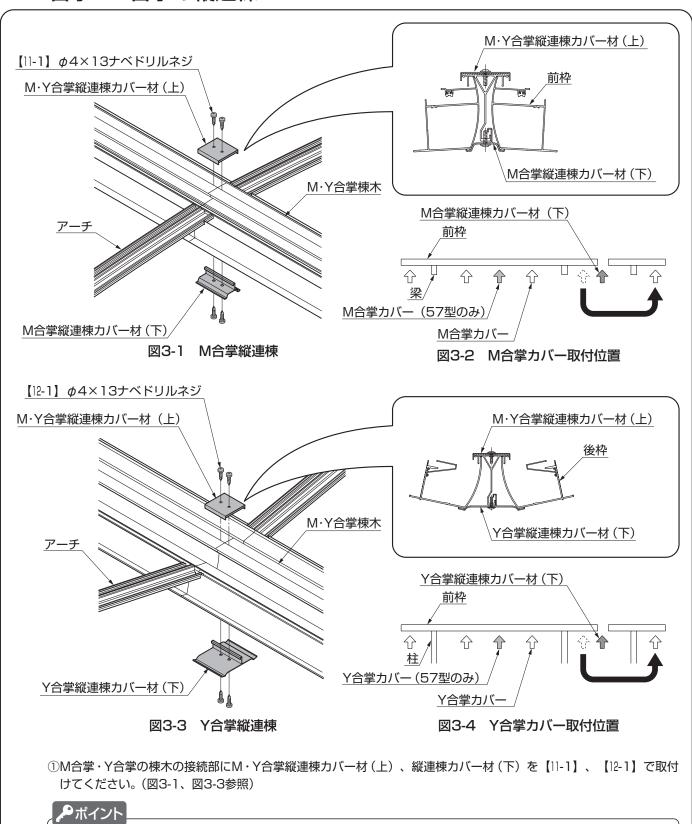
- ①後枠スリーブを取付ける【15-1】にシーリング材を充てんしてください。 (※1)
- ②前枠・母屋・後枠にそれぞれ前枠スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを【15-1】で取付けて連結してください。
- ③全ての【15-1】の回りにシーリング材を充てんしてください。
 - ●連棟部分以外の組立ては、「■3 基本の施工方法」を参照してください。

2-3 シーリング処理



①連棟部分にシーリング材を充てんしてください。

3. M合掌・Y合掌の縦連棟



●14延長の場合のM合掌カバー・Y合掌カバー取付位置は図3-2および図3-4を参照してください。

② 補足

●連棟部以外の取付けは、「4 M合掌の施工方法」、「5 Y合掌の施工方法」を参照してください。

メモページ